

# 深川市議会と深川商工会議所議員 との懇談会



---

## 開催概要

---

- 日 時: 令和8年8月3日(水)
- 場 所: ラ・カンパーニュホテル深川
- 参加者: 深川市議会議員13名、深川商工会議所議員12名
- 懇談要旨: 市街地の活性化に向けて

深川商工会議所会頭 廣野勝利 挨拶

市議会議員の皆さんと商工会議所議員の皆さんが一堂に会し、深川の現状や将来について率直に意見を交わす機会は大変意義深いものだと思います。人口減少や市街地の空き地・空き店舗の増加など、深川を取り巻く課題は年々大きくなっており、かつてのにぎわいが失われつつあることに強い危機感を抱いています。だからこそ、市議会と商工会議所がそれぞれの立場を超え、一つになって深川の未来を考え、地域経済の活性化と魅力あるまちづくりに取り組んでいくことが重要だと考えています。

また、祭りや地域活動など、地域全体で力を合わせて取り組むべきことは数多くあり、私たちの身近な環境も大きく変化しています。本日は、皆さんが日頃感じている地域の実情や課題、将来への思いを忌憚なく語り合い、深川をより良いまちにしていくための建設的な議論につなげていただきたいと思います。そして、この懇談会をきっかけとして、今後も継続して対話を重ねる機会が生まれることを期待しています。

深川市議会議長 近沢弘幸 挨拶

日頃から深川市議会に対し御理解と御支援をいただいていることに感謝申し上げます。平成 29 年には、留萌線の将来を考えるため、市議会と商工会議所が連携し、留萌市を訪問して関係者との意見交換を行いました。しかし、その後も利用者減少などの課題は大きく、今年 3 月には留萌線が廃止となりました。さらに現在は、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増し、バス路線の維持や運転手不足など、地域の足を確保することが大きな課題となっています。

また、深川市の人口は最盛期の約 3 万 9 千人から現在は約 1 万 7 千 5 百人まで減少し、地域のあり方そのものを見直す時代を迎えています。市街地では空き地や空き店舗が増加し、農村部においても人口減少や担い手不足が進んでいます。こうした中で、今後どのように暮らしやすい地域を維持し、新たな人を迎え入れながら活力を生み出していくのかを考えていかなければなりません。

本日のテーマである市街地活性化については、それぞれ立場は異なるものの、深川を大切に思う気持ちは皆同じです。この懇談会を通じて率直な意見を交わし、今後のまちづくりにつながる有意義な議論となることを期待しております。

## 懇談会で出された意見の概要

### ① 人口減少・担い手不足への対応

- ・若者が深川に住み続け、将来も安心して働き暮らせる環境づくりが必要
- ・地域企業の賃上げ、生産性向上などを行政、商工会議所、金融機関が一体となって支援していく必要がある
- ・子育て世代が安心して暮らせる住宅、教育、医療、買物環境の充実が求められている
- ・子どもたちが集まり、遊び、交流できる場所がほしい
- ・高校や大学への進学後もUターンしやすい仕組みづくりが重要
- ・深川市内の高校の魅力向上を図り、地元進学率の向上につなげるべき
- ・拓殖大学北海道短期大学の影響は大きい。大学誘致は絶対に必要
- ・外国人材の受入れ支援や定住環境の整備を進める必要がある
- ・若者を活気づけさせる施策があってもいい。若者をどうサポートするか
- ・各種団体や地域活動の担い手不足が進んでおり、人材育成が求められている

### ② 市街地活性化と地域経済の再生

- ・増加する空き地や空き店舗を地域資源として活用する仕組みづくりが必要である
- ・空き地や空き店舗を活用しチャレンジショップ、コワーキングスペースやテレワーク拠点などにできないか
- ・子どもや若者、学生が集える交流拠点の整備により、市街地の賑わい創出できないか
- ・道の駅から町なかへの誘導ができない。地元の農産物を販売する富良野のマーケットのような場所を町なかに作るなどの仕掛けはできないか
- ・深川産の米や野菜、果物などの魅力を生かし工夫することで、農業の活性化や将来につなげていけると思う
- ・キャッシュレス決済や電子マネーなども進めていったほうがよい
- ・町なかで飲む機会も、店も減っている。夏まつりやビールパーティーなどのイベントで町なかを活性化させれないか
- ・将来に向かってのビジョンが必要。小さくても強いまちづくりをしていかななくてはいけない

### ③ 「オール深川」による魅力発信と交流人口の拡大

- ・市議会、商工会議所、行政、市民が一体となって「オール深川」で取り組むことが重要
- ・米や農産物のおいしさ、全国トップクラスの除雪体制、温かい人など、深川の強みはたくさんあるが、PRしきれていない。あまり知られていないのがもったいない
- ・農道音楽祭では5,700人が深川市に集まった。小さくなくてもイベントなどで市外から多くの来訪者を呼び込み深川のよさを広めていってはどうか
- ・個人個人が深川の魅力伝えていくことや、飲食店を使っていくことも大切